

新庄開府400年

受け継ぐ想いが、未来をつくる。

新庄開府400年記念事業について



1. はじめに

本市では、初代藩主 戸沢政盛公が1625年に新庄城を築城し、領内を開いてから、来年で400年を迎えることから、これまでの歴史や文化、まちづくりを振り返るとともに、郷土新庄への愛着と誇りを高め、次代を担う子どもたちと共に、さらなる発展につなげることを目的に、「新庄開府400年記念事業」を実施いたします。

2. これまでの経過について

新庄開府400年記念事業の周知や機運醸成につきましては、今年度の新たな取り組みとして、新庄開府400年記念事業アンバサダーを任命し、現在、様々な広報活動を行っていただいております。また、今年の「新・BS日本のうた」の新庄開催におきましては、新庄出身歌手の林部智史さんから、全国に向けて新庄開府400年記念についてPRしていただいたところであります。この他の啓発活動といたしまして、新庄開府400年記念ののぼり旗の市内各所への設置をはじめ、市のホームページや、ゆめりあのデジタルサイネージなども活用してPRに努めております。また、広報誌では、新庄開府400年記念事業の特集記事を複数回にわたり掲載したほか、記念ポロシャツや缶バッチを製作し、周知や機運の醸成を図っております。今後は、新庄開府400年のPR用マグネットシートの車両への装飾をはじめ、関係機関や市内事業者とも連携しながら、さらなる新庄開府400年記念の認知度向上と機運の醸成を図ってまいります。

3. 令和7年度の事業について

新庄開府400年の本番となります令和7年度の事業につきましては、本市の歴史や文化を再認識し、郷土新庄への愛着と誇りを高められるような内容で企画してまいります。特に、9月28日に実施いたします記念式典におきましては、今年度から取り組んでおります総合アドバイザーの今村翔吾氏のプロデュースによります「ダンスプロジェクト羽州ぼろ鳶組」のダンス披露をはじめ、子ども達による 未来に向けたビジョン宣言など、市民の皆様が 次の100年に向けた新庄の未来に夢や希望を創造できるような内容にしていきたいと考えております。そのほか、藩祖政盛公にかかわる自治体による戸沢サミットの開催や、市民が主体となり自ら企画提案する「市民提案事業」の実施のほか、市内小中学生による「ふるさと探究コンテスト」などを計画しております。また、名誉市民であります奥山峰石氏の特別企画展を 東京都北区と連携して行うことや、新庄藩の歴史や文化を親子で学ぶ「親子ふるさと歴史探訪」、新庄藩ゆかりの収蔵品などを展示する宝物展なども開催する予定としております。

新庄開府400年記念事業実施計画

1. 「歴史・文化の再認識」にかかる事業

(1) ふるさと歴史センターにおける特別企画展

①新庄藩ゆかりの宝物展

旧新庄藩領内において広く新庄藩や戸沢氏ゆかりの収蔵品を募集し、令和7年度に新庄ふるさと歴史センターや市民プラザギャラリーにおいて企画展を開催する。

②名誉市民特別展

令和7年に米寿を迎える奥山峰石氏の特別企画展として東京都北区との巡回展を開催する。

(2) ふるさとを知る歴史講座

①新庄藩校明倫堂講座

本市の歴史や文化を学ぶ市民講座について市内外より講師を招き開催する。

②親子ふるさと歴史探訪

新庄開府400年を記念した特別プログラムとして実施。自身が住んでいる「まち」の成り立ちや歴史・文化を親子で学ぶ機会とする。

(3) 城下町新庄周遊促進プロジェクト

市内全域における歴史文化施設や文化財等を巡るスタンプラリー等を実施する。

2. 「次世代への継承」にかかる事業

(1) 青少年文化芸術交流事業（ダンスプロジェクト羽州ぼろ鳶組）

開府400年記念事業実行委員会総合アドバイザーの今村翔吾氏が提案するプロジェクトを通し、新庄の未来を担う人材の育成と、その取り組みを地域内外へ情報発信することにより、開府400年の機運醸成と今後の交流・関係人口の増に繋げる機会とする。

(2) 小中学生が行う開府400年から未来に向けたまちづくり企画

①ふるさと学習助成事業（ふるさと探究コンテスト）

新庄開府400年記念事業のコンセプトに関わるふるさと学習に対し、令和7年度は小中学校、義務教育学校に対し、1校あたり50,000円（義務教育学校は100,000円）を助成する。

②ふるさと学習支援

歴史や文化財に関するふるさと学習に対し、講師の派遣、紹介、収蔵資料の提供などの支援

③新庄開府400年記念に関する各種事業のボランティア募集

各種イベントにおいて運営サポートなどのボランティア募集や各種事業への参加を促す。

(3) 受け継ぐ想いが未来をつくる市民提案事業

新庄開府400年記念事業として、市民が主体的に参加し、自ら提案・企画する事業を支援することで、市民の創意工夫を生かしながら、地域活性化や文化創出を図ります。

3. 「交流人口・関係人口の増加」にかかる事業

(1) PR事業

①アンバサダー認定事業

SNS等を通して、歴史、文化、食など市の魅力を市内外に広く発信していただける方を認定。

②新庄開府400年広告宣伝、記念グッズ製作

(2) 新庄開府400年記念戸沢サミット

藩祖政盛公にゆかりのある自治体とともに戸沢サミットを開催する。

(3) 東北山・鉾・屋台協議会総会開催（令和7年8月24日（日）～25日（月））

新庄市を会場にユネスコ無形文化遺産「山・鉾・屋台行事」を構成する東北の5団体（八戸市、鹿角市、秋田市、仙北市、新庄市）の東北山・鉾・屋台協議会総会を新庄まつりの時期に合わせ開催する。

(4) 新庄開府400年記念式典イベント

・開催日：令和7年9月28日（日）

・会場：新庄市民文化会館大ホール ほか

令和7年の新庄開府400年を市民及び関係者と共にお祝いし、次の100年に向けた新たなまちづくりのスタートの年として、市民が一体となり、これからの新庄の未来を切り拓いていく契機とする。

新庄開府400年記念事業の概要

<p>【事業の目的】</p> <p>先人たちの想いを繋ぎ、伝統・歴史・文化を次の100年を担う世代に継承し、さらなる発展に繋げる機会と捉え、各種事業に取り組みます。</p>	<p>【事業の方針】</p> <p>柱1：歴史・文化の再認識 / 柱2：次世代への継承 / 柱3：交流人口・関係人口の拡大 この3本を軸として、本市の自然や歴史、文化、食などの魅力を全国に発信する。</p>
---	--

令和6年度										令和7年度						
10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1~3月	
新庄開府400年記念メイン事業																
歴史・文化の再認識																
	歴セシ特別企画展	宝物展 近岡善次郎展 奥山峰石展 講座実施 まとめ スタンプラリー実施														
	ふるさと歴史講座 周遊プロジェクト	発表 発表 発表 抽選														
次世代への継承	発表① 発表②															
関係人口	随時受付 発表 発表 報告・精算															
グッツ開発・PR活動	(ぼる鳶関連) 総会															
	山・鉾・屋台総会	春まつり カド焼き 雪まつり 神田紅 講演														
市内関連事業	リレーマラソン リレーマラソン キッズシアター 第九公演															